京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京都大学構内
電話西田(075)(771)4221
振替・京都3909
(1部5円)

中教審最終案に思う

8日中教審特別委で決定された大学管理制度に関する答申について、文相の拒否権や教授会の権限の問題を中心に学内の声をあつめた(編集部)

相良惟一 教授

文相の長大に関する拒否権については、アイデイアは評価されていたが、人事への介入のようなことは、教授会に「大学自治」に相容れない性質のものだ。これが法制化されたら、国際的にも、大学の自治の原則が崩れる。

また、この日共、全国のみなさんの、大学管理制度改悪のねらいを、大学の自治の原則を、大学の自治の原則を、大学の自治の原則を

大一学一管一理一制一度
中教審最終案を検討する

責任、職務の明示狙う
文相 拒否権、実質は存在

▼学長選挙権問題＝中央教育審議会第十六特別委員会（主査＝森戸辰男）では、八日の同審議会第十六特別委員会（主査＝森戸辰男）で、学長選挙権問題について、審議した。

▼学長の選挙権＝この問題については、「大学の自治から学長は教授会の選挙で選ばれるべきだ」という意見と、「学長は教授会の選挙で選ばれるべきだ」という意見とが、ほぼ半々に分れた